



①身を守る ②出口の確保 ③火元の確認

中部自治会防災委員会ではご家庭で災害に備えるための情報をお伝えしてまいります。

大きな地震が起きると水洗トイレが使えなくなります

簡易トイレを準備しておきましょう

トイレ対策は、飲料水や食料の確保と同等に、いやそれ以上に重要な問題です。被災地が抱える深刻な問題のひとつがトイレ。非常時の水道や電気のライフラインが断られたなかでの生活。まず水洗トイレは使えなくなります。

トイレを我慢するために飲食を控え、血栓症を引き起こしたり、栄養不良から抵抗力がなくなりインフルエンザにかかる事例があります。衛生面の悪化から感染症の流行を引き起こすこともあり、排せつ物は水を使わずに処理しなければなりません。

「簡易トイレ」のポリ袋を便器にセットして用を足し、凝固剤をふりかけて水分をゼリー状に固め、袋の口を縛ってゴミとして処分します。

※一度試してみましよう！

「簡易式トイレパック」を準備しましょう。

汚物処理袋、高分子吸水シート、汚物処理剤各12回分と取扱説明書が一箱にまとめられています。

北川酒店やホームセンターで取り扱っています。(1500円くらい)インターネットで検索して手にいれることもできます。



自治会館には非常用の水、食糧などの備蓄はありません。各家庭で十分な備えを心がけましょう。

2月1日は 黄色いタスキ安否確認訓練 です。

朝、ご自宅の玄関や門扉など目立つ場所に掲げて下さい。